

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト 実施報告書

報告日	平成 29 年 12 月 27 日
学校名	愛媛大学教育学部附属特別支援学校
PTA会長名	藤田 百香里

実施概要	実施活動名	学校祭
	実施日時	平成 29 年 11 月 3 日 (金)
	実施場所	愛媛大学教育学部附属特別支援学校
	実施目的	○ 学習成果の発表、児童生徒や保護者、教員 OB 等による出店を通して、本校児童生徒と卒業生、保護者、地域の方、他校生との親睦を深める。 ○ 地域の方に対して、本校児童生徒や本校教育活動への理解啓発を図る。
	実施内容	催しもの鑑賞、各部によるゲームコーナーや喫茶コーナー・作業製品販売、福祉施設による模擬店やカラオケコーナー等
	実施方法	○ ポスターやチラシを作成し、地域の方や福祉施設、他附属学校園、交流校等に配布する。 ○ PTA と児童生徒が協力して企画・運営をする。 ○ 保護者や児童生徒の出店をはじめ、福祉施設、教職員 OB にも出店を要請する。 ○ 卒業生のコーナーを設置し、運営に参加する機会を設ける。 ○ 交流校の生徒には、本校生徒と一緒に作業製品の販売やボランティアとしての活動も依頼する。
参加人数	本校児童生徒、卒業生、保護者、福祉施設の方、他校生徒、地域の方、教職員 OB 等 約 400 人	

報告事項	内容	<ol style="list-style-type: none"> 開会式 催しもの (愛媛大学学生によるミニコンサート) イベントコーナー 小学部コーナー、中学部コーナー、卒業生カラオケコーナー、おでカフェ・ハッピー (高等部・喫茶コーナー) 作業製品の販売 (高等部・中学部の木工・布工・園芸・印刷作業班の製品 農作物 その他) PTA・元本校教員有志等コーナー (未利用品販売 食品販売 施設・作業所の食品販売)
	結果	<p>当日は天候に恵まれ、地域の方をはじめ本校と関係のある方等、多方面から多くの方が来てくださり、例年以上に活気のある学校祭となった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 開会式・催しもの (ミニコンサート) 催し物として愛媛大学で音楽を学んでいる学生がミニコンサートを行った。金管楽器や木管楽器、エレクトーン、ピアノなどによる演奏や素敵な歌声の披露など、音楽の素晴らしさに触れる貴重な時間となった。サプライズとして、本校教員も学生に加わりピアノ演奏を披露すると、より盛り上がり、会場が一体となって音楽を楽しんだ。 イベントコーナー・バザー 小学部や中学部は、この日のために計画し準備したゲームコーナーを開催した。毎年このコーナーを楽しみにしている家族連れがゲームに参加し、お目当ての手作り景品をゲットしようと頑張っていた。中学部の生徒は、自分の役割を確実に果たしており、その姿は地域の方たちにも好評であった。高等部生徒による喫茶コーナーは、今年で 4 年目を迎える。常に行列ができていたが、身に付けた接客技術で上手に対応している姿が見事であった。作業製品販売、収穫野菜販売、福祉施設による食品販売、PTA による未利用品販売や食品販売、教員 OB によるうどん販売の各コーナーは、たくさんの方で賑わい、笑顔があふれる学校祭となった。
	所感	<p>学校祭は、地域の方たちに来校していただき、学校のことや子どもたちの活躍を知ってもらい、よい機会となっている。例年同時期に開催することや、子どもたちの手でポスターを貼ったりチラシを配付したりすることで、地域の方たちへの周知もでき、楽しみにしてもらえらる行事となっている。また、各附属校園からも多くの保護者、園児児童生徒、教員が参加してくれ、交流の機会を図ることもできた。</p> <p>工夫を凝らした内容は、全て子どもたちが企画運営した手作りのものである。各コーナーを見てもらうことで、来校者には子どもたちの教育活動や企画運営力、役割を果たす姿をしっかりと見てもらうことができた。子どもたちは、生涯にわたって他者との関係の中で地域社会を形成するかけがえのない存在として生活していく。その意味からもこの学校祭は、子どもたちが主体的に他者と関わることで、自分の存在価値を地域の方たちに理解していただく大切な機会と捉えている。</p>

添付書類

写真



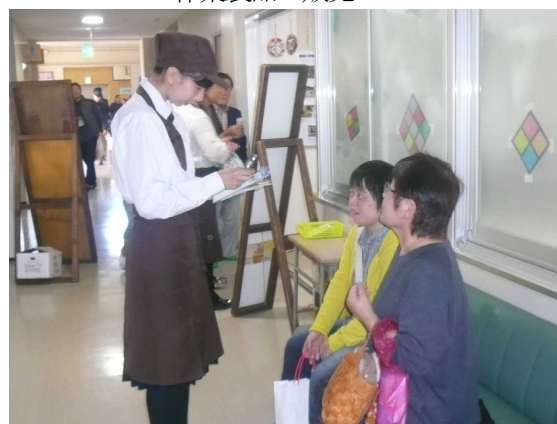
<ミニコンサート>



<作業製品の販売>



<中学部：ゲームコーナー>



<高等部：喫茶コーナー>



<農耕作業：とれたて野菜販売>



<卒業生によるカラオケコーナー>



<教員OBによる うどん販売コーナー>

カンガルーシップ活動
理解プロジェクト参加感想

提出日	平成 29 年 12 月 27 日
学校名	愛媛大学教育学部附属特別支援学校
学年	中学部

活動に参加しての感想

中学部1年生

ながすんじゃー

○したこと
ボールをてるゲーム

○お客さんの数
75人

○感想
おきやくさんによるこんでもらえて、うれしかったです。みんなが力を合わせたり協力したりしておきやくさんにあげができたのしんでもらえてうれしかったです。中2のゲームコーナーもがんばりまほ。

中学部2年生

なげるんじゃー

○したこと
ボールで外のましをたすゲーム

○お客さんの数
85人

○感想
中2のみんなは自分の仕事を一生けんめいやっています。お客さんかいせんしてくれてうれしかったです。またやりたいです。

中学部3年生

たのしむんじゃー

○したこと
ポケモンゲット・しゃてき・じゃんけん

○お客さんの数
110人

○感想
じょうがにじつめいさきて、おしんもらえてうれしかった。つぎのことをひんがえてじゃんけんをしました。自分で作ったまを祭んでもらえたのがうれしかった。お客さんとタイミングをおあわせてじゃんけんしました。ルールの説明をはきり言います。いそがしかたけどがんばりました。かけごえをおおきなこえでいえました。

じょうがにじつめいさきて、おしんもらえてうれしかった。つぎのことをひんがえてじゃんけんをしました。自分で作ったまを祭んでもらえたのがうれしかった。お客さんとタイミングをおあわせてじゃんけんしました。ルールの説明をはきり言います。いそがしかたけどがんばりました。かけごえをおおきなこえでいえました。



カンガルーシップ活動

理解プロジェクト参加感想

提出日 平成 29 年 12 月 27 日

学校名 愛媛大学教育学部附属特別支援学校

- 今年度も多くの方の協力で、盛大に学校祭を開催することができてよかったです。保護者間で引き継がれているので、大変な仕事ですが、毎年改善しながらうまく運営ができていると思います。何よりも子どもたちが楽しく過ごしている姿は、頑張ろうという励みになります。
- 引継ぎが活かされ、今年度はスタッフとしての仕事があっても、子どもの様子を見たり一緒に過ごしたりできる時間を工夫してもらえたのでうれしかったです。
- 今年もたくさんの方が来てくださり、学校祭を盛り上げてくれました。お世話になった先輩や先生方に会えるのを子どもは楽しみにしています。たくさん声を掛けてもらったようです。
- 子どもが考えて準備・運営しているゲームが、本格的なので驚きです。大人から小さい子どもまでゲームを楽しみに来ていましたが、お客さんにあわせてうまく声を掛けながら司会などをしていたのが頼もしかったです。
- 作業学習で作った製品は、レベルアップをしているものもあり、好評だったと思います。自分が作った製品を一生懸命にアピールしている様子が何ともほほえましかったです。しかし、その様子から、よい製品だという自信もあふれていたと感じました。たくさん売れているようでした。
- 地域の方から、「すごいね」「ありがとう」などの声を掛けてもらっている様子を見て、地域の方と一緒に行事をする良さを感じています。地域の方の温かさを感じるとともに、これからも何か一緒に活動できたらいいなとも感じました。
- 卒業生がたくさん来られていて、楽しんでいる様子が印象的でした。運動会と学校祭は、卒業生にとって、楽しみにしている行事なのだと感じました。
- 他の附属校園の保護者さんからも協力を得ることができました。いろいろな形で交流は可能であるし、次につながると感じました。
- 子どもたちがそれぞれのところで、生き生きと活動に参加していたのが感動的でした。自分の役割をしっかりと果たしている姿、堂々とお客さんに製品をアピールしている姿、照れながらも接客をしている姿、今どうすればよいか迷いながらも自分で考えて接客している姿、いろいろな子どもの様子を見ることができました。子どもの成長を感じることもできる学校祭でした。